

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エストアー  
 コード番号 4304 URL <http://Estore.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 石村 賢一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 柳田 要一

TEL 03-3595-1106

四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,479	2.5	192	25.8	193	26.9	125	32.9
27年3月期第1四半期	1,444	△0.2	152	4.9	152	2.9	94	7.8

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 129百万円 (32.1%) 27年3月期第1四半期 97百万円 (5.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	42.46	42.45
27年3月期第1四半期	31.35	31.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	3,355	794	22.1
27年3月期	3,622	1,238	32.8

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 743百万円 27年3月期 1,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	34.00	34.00
28年3月期	—				

(注) 1 当社は定款において、第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めていますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定です。  
 2 平成28年3月期の配当予想は未定です。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	6,131	6.2	215	△62.3	215	△62.6	134	△59.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業績管理を行っているため、通期のみの開示としております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	5,163,600 株	27年3月期	5,163,600 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	2,584,900 株	27年3月期	2,198,500 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	2,960,853 株	27年3月期1Q	3,018,500 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料7ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	7
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	7
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	7
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	7
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	7
3. 四半期連結財務諸表 .....	8
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	10
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	10
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	11
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

3期前より「量より質」をスローガンとして、システム事業からマーケティング事業への転換を進めてきている中で、投資の割に成果が数値に反映できていない状態が続いています。2015年5月発表の、第17期決算説明資料にもあげましたとおり、3年間のうち1年（第16期）は、ほぼ行動成果とならず、翌第17期にようやく人材を中心とした環境と体制が構築でき、その下期から行動に移行できたというのが、その原因です。その結果において、業績については、マーケティング事業への投資の収益化にまでは及ばずも、活動を通じて、マーケティング市場のポテンシャルと適用方法が確認でき、アカウントと業務の量と質が加算しはじめているところですので、マーケティング事業への投資をより一層加速させてゆく方針で、今期（第18期）の予算と着地予想を発表しており、予想開示をしているのは、当該の投資による大幅な減益を予定しているためです。

この計画の中、当第1四半期は、計画を超える利益水準となっています。これは、業務成果によるものではなく、年間を通しての予算投下に対して、まだ大きな投資を伴わない時期である事からも、また、進捗推移を見ながらの投下であることから、このような、利益面で計画を超える水準となっています。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,479百万円（対前年同四半期比2.5%増）、営業利益は192百万円（対前年同四半期比25.8%増）、経常利益は193百万円（対前年同四半期比26.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は125百万円（対前年同四半期比32.9%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

## (システム事業)

売上全体の約65%を占めるシステム事業は、収益上の基盤となっていますが、OEM供給がなくなる3年前より、「契約顧客数の拡大」（量）から「顧客の売上高の増大」（質）への構造転換を進めており、良品良店にシフトした新規顧客獲得をベースとし、同様に良品良店にシフトした販売支援を進めていくことで顧客売上高を増大させ、当社の収益化を図るというものです。

期中の平均の契約店舗数は、19,702件（対前年同四半期比8%減）と計画通りに減少していますが、これは良品良店シフトの営業に切り替えた結果です。また、売上の低い顧客店舗は、残念ながら解約の傾向にありますが、これを引き止めることへの対処も減らす計画により、全体の契約顧客数は前述の通りの減少となりました。他方で、店舗当たりの業績は対前年同四半期比で約16%の伸びとなり、前年比では、消費税引き上げの反動による影響もありますが、これを鑑みても、前述の活動方針シフトを高めた事の確認となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は986百万円（対前年同四半期比3.9%増）、営業利益は217百万円（対前年同四半期比0.6%増）となりました。

## (マーケティング事業)

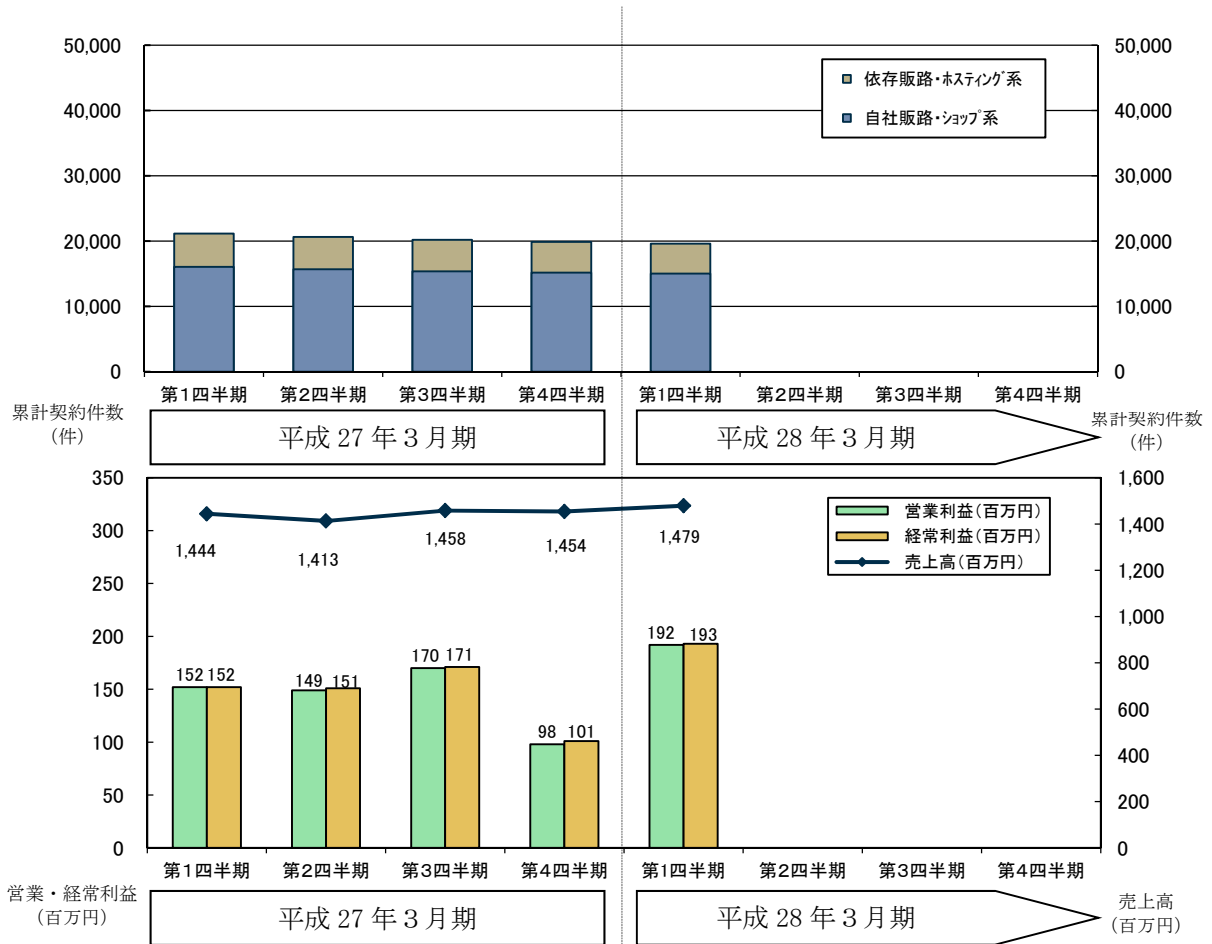
マーケティング事業は、今後の成長分野と位置付けており、特に注力分野と位置付けているEコマース領域については、今後の事業の拡大のための投資を精力的に進めている段階です。

Eコマース領域においては、顧客店舗サイトへの集客増や転換率向上のための支援(広告運用やページ制作の受託)から、売上拡大のためのコンサルティング、およびそれらのノウハウを生かした店舗運営の代行業務へと、当社収益全体に対する影響力はまだまだ一部ながらも、サービスの領域を拡大させています。また、当社の競争優位となる、システム事業で培った実績を基にした、データマーケティングビジネスも開始し、その結果、母数は小さいながらも、対前年同四半期比で約25%の伸びとなりました。また、Eコマース外領域で運用型広告サービスを中心に様々な支援サービスを提供する連結子会社である株式会社プレジジョンマーケティングにおいては、特定企業によるマスメディア広告への出稿シフトの影響によって、広告取扱高とともに売上高が減少しております。利益面では、コンテンツ・ディレクションなどのコンサルティング業務の増加により利益率が向上する一方で、体制強化のための投資を積極的に行っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は 537百万円(対前年同四半期比 1.6%減)、営業損失は 24百万円(前年同四半期営業損失 62百万円)となりました。

今後の見通しにつきましては、Eコマースの市場成長は高く見込めるものの、参入者が増加し収益性が低下しているシステム事業から、今後市場が拡大するマーケティング事業への構造転換を進めるために、投資を、十分な利益範囲内で、継続してまいります。この投資の今期の具体的内容は、人材投資(採用と教育)やマーケティング企業としてのブランディング投資を中心に、今後より逼迫することが予想される、システムのセキュリティ投資も加えております。

(契約件数と売上・利益の四半期推移)



(販路別契約件数の四半期推移)

自社販路件数推移

	平成27年3月期 第1四半期	平成27年3月期 第2四半期	平成27年3月期 第3四半期	平成27年3月期 第4四半期	平成28年3月期 第1四半期
新規契約件数	523	548	496	515	583
(内 ショップ系)	(515)	(537)	(491)	(509)	(575)
(内 ホスティング系)	(8)	(11)	(5)	(6)	(8)
解約件数	976	935	830	750	728
(内 ショップ系)	(934)	(906)	(794)	(719)	(713)
(内 ホスティング系)	(42)	(29)	(36)	(31)	(15)
累計件数	17,224	16,837	16,503	16,268	16,123
(内 ショップ系)	(16,041)	(15,672)	(15,369)	(15,159)	(15,021)
(内 ホスティング系)	(1,183)	(1,165)	(1,134)	(1,109)	(1,102)

依存販路件数推移

	平成27年3月期 第1四半期	平成27年3月期 第2四半期	平成27年3月期 第3四半期	平成27年3月期 第4四半期	平成28年3月期 第1四半期
新規契約件数	2	3	3	0	1
(内 ショップ系)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(内 ホスティング系)	(2)	(3)	(3)	(0)	(1)
解約件数	144	121	107	92	120
(内 ショップ系)	(96)	(67)	(72)	(56)	(83)
(内 ホスティング系)	(48)	(54)	(35)	(36)	(37)
累計件数	3,914	3,796	3,692	3,600	3,481
(内 ショップ系)	(2,378)	(2,311)	(2,239)	(2,183)	(2,100)
(内 ホスティング系)	(1,536)	(1,485)	(1,453)	(1,417)	(1,381)

※ 本頁表中の「ショップ系」とは、ショッピングカート付システムを指し、「ホスティング系」とは、ショッピングカートの無いシステムを指します。

(主要サービス別契約件数の四半期推移)

サイトサーバ（レンタルサーバー）件数推移

	平成27年3月期 第1四半期	平成27年3月期 第2四半期	平成27年3月期 第3四半期	平成27年3月期 第4四半期	平成28年3月期 第1四半期
新規契約件数	12	15	8	7	10
(内 直販件数)	(8)	(8)	(3)	(3)	(4)
(内 代理店販売件数)	(4)	(7)	(5)	(4)	(6)
(内 OEM販売件数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
解約件数	280	222	209	183	202
(内 直販件数)	(93)	(73)	(72)	(57)	(55)
(内 代理店販売件数)	(187)	(149)	(137)	(126)	(147)
(内 OEM販売件数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
累計件数	7,132	6,925	6,724	6,548	6,356
(内 直販件数)	(2,169)	(2,104)	(2,035)	(1,981)	(1,930)
(内 代理店販売件数)	(4,963)	(4,821)	(4,689)	(4,567)	(4,426)
(内 OEM販売件数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

ストアーツール（ショッピングカートASP）件数推移

	平成27年3月期 第1四半期	平成27年3月期 第2四半期	平成27年3月期 第3四半期	平成27年3月期 第4四半期	平成28年3月期 第1四半期
新規契約件数	0	0	0	0	0
(内 直販件数)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(内 代理店販売件数)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(内 OEM販売件数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
解約件数	22	19	16	14	12
(内 直販件数)	(17)	(14)	(9)	(7)	(6)
(内 代理店販売件数)	(5)	(5)	(7)	(7)	(6)
(内 OEM販売件数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
累計件数	382	363	347	333	321
(内 直販件数)	(244)	(230)	(221)	(214)	(208)
(内 代理店販売件数)	(138)	(133)	(126)	(119)	(113)
(内 OEM販売件数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

ショップサーバ（ネットショップ総合パッケージ）件数推移

	平成27年3月期 第1四半期	平成27年3月期 第2四半期	平成27年3月期 第3四半期	平成27年3月期 第4四半期	平成28年3月期 第1四半期
新規契約件数	513	536	491	508	574
(内 直販件数)	(401)	(383)	(349)	(378)	(421)
(内 代理店販売件数)	(112)	(153)	(142)	(130)	(153)
(内 OEM販売件数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
解約件数	818	815	712	645	634
(内 直販件数)	(677)	(650)	(583)	(509)	(491)
(内 代理店販売件数)	(141)	(165)	(129)	(136)	(143)
(内 OEM販売件数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
累計件数	13,624	13,345	13,124	12,987	12,927
(内 直販件数)	(10,485)	(10,218)	(9,984)	(9,853)	(9,783)
(内 代理店販売件数)	(3,139)	(3,127)	(3,140)	(3,134)	(3,144)
(内 OEM販売件数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

(売上高)

① 構成別内訳

平成28年3月期第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

セグメント の名称	構成別	売上高(百万円)	前年同四半期比(%)
システム事業	ストック(契約店舗数に連動)	515	96.4
	フロウ(店舗業績に連動)	451	112.4
	その他(クロスセル・セミナー等)	18	152.0
	小計	986	103.9
マーケティング事業	既存(プレシジョンマーケティング社)	367	93.1
	新規(当社)	126	125.2
	小計	493	99.7
合計		1,479	102.5

② 商品別内訳

平成28年3月期第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

セグメント の名称	商品別	売上高(百万円)	前年同四半期比(%)
システム事業	ネットショップ総合パッケージ	862	106.4
	レンタルサーバー	110	89.5
	ショッピングカート機能	12	88.4
	その他インターネット関連サービス	0	79.4
	小計	986	103.9
マーケティング事業	マーケティングサービス	493	99.7
	小計	493	99.7
合計		1,479	102.5

(注) 連結子会社による内部売上高を含めていません。



(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、3,355百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は次のとおりです。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末比で266百万円減少し、3,355百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少248百万円によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末比で177百万円増加し、2,561百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加300百万円、預り金の増加75百万円、未払法人税等の減少75百万円によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末比で444百万円減少し、794百万円となりました。これは、平成27年6月25日に行った自己株式の取得472百万円、平成27年3月期の配当金支払100百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益として、125百万円を計上したことによります。これにより自己資本比率は22.1%（前連結会計年度末比10.7ポイント減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月12日付「平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,310,634	2,062,374
売掛金	667,883	657,454
貯蔵品	4,594	4,018
その他	146,705	143,109
貸倒引当金	△11,409	△11,327
流動資産合計	3,118,407	2,855,629
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	83,009	74,134
その他(純額)	20,227	19,101
有形固定資産合計	103,236	93,235
無形固定資産	121,519	129,623
投資その他の資産		
投資有価証券	95,691	97,446
敷金	138,456	138,456
その他	45,146	41,135
投資その他の資産合計	279,294	277,039
固定資産合計	504,050	499,898
資産合計	3,622,458	3,355,528
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	378,347	360,955
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	102,580	100,840
未払金	87,975	65,421
未払法人税等	125,316	49,437
預り金	1,394,953	1,470,876
賞与引当金	60,174	34,457
その他	191,571	160,786
流動負債合計	2,340,918	2,542,774
固定負債		
長期借入金	24,780	—
資産除去債務	18,359	18,414
固定負債合計	43,139	18,414
負債合計	2,384,057	2,561,189

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	523,328	523,328
資本剰余金	539,480	539,480
利益剰余金	2,460,352	2,485,248
自己株式	△2,339,819	△2,812,386
株主資本合計	1,183,342	735,670
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,298	7,495
その他の包括利益累計額合計	6,298	7,495
新株予約権	746	746
非支配株主持分	48,013	50,426
純資産合計	1,238,400	794,338
負債純資産合計	3,622,458	3,355,528

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,444,298	1,479,689
売上原価	1,016,257	1,009,607
売上総利益	428,040	470,082
販売費及び一般管理費	275,370	278,082
営業利益	152,670	192,000
営業外収益		
受取利息	262	70
為替差益	—	561
雑収入	70	820
営業外収益合計	333	1,452
営業外費用		
支払利息	191	101
為替差損	552	—
自己株式取得費用	—	245
雑損失	156	14
営業外費用合計	900	360
経常利益	152,103	193,092
税金等調整前四半期純利益	152,103	193,092
法人税、住民税及び事業税	38,997	46,248
法人税等調整額	15,231	18,721
法人税等合計	54,228	64,970
四半期純利益	97,874	128,121
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,254	2,413
親会社株主に帰属する四半期純利益	94,620	125,708

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	97,874	128,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49	1,197
その他の包括利益合計	49	1,197
四半期包括利益	97,923	129,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,600	126,905
非支配株主に係る四半期包括利益	3,323	2,413

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年6月24日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得により自己株式は、当第1四半期連結会計期間に472,567千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において2,812,386千円となりました。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	システム 事業	マーケティング 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	948,919	495,379	1,444,298
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	51,025	51,025
計	948,919	546,404	1,495,324
セグメント利益または損失(△)	216,231	△62,547	153,683

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	153,683
のれんの償却額	△1,018
セグメント間取引消去	5
四半期連結損益計算書の営業利益	152,670

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	システム 事業	マーケティング 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	986,013	493,676	1,479,689
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	44,249	44,249
計	986,013	537,925	1,523,939
セグメント利益または損失(△)	217,489	△24,475	193,013

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	193,013
のれんの償却額	△1,018
セグメント間取引消去	5
四半期連結損益計算書の営業利益	192,000

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。